

# 高校生・大学生のための スポーツ医科学研究セミナー

## スポーツ医科学を学んだ先にある スポーツを仕事にすること

【講師】

### 城所収二 先生

福岡ソフトバンクホークス チーム戦略室  
R&Dグループ チーフ



【講演の概要】

アスリートを支える仕事といえば、スポーツトレーナーを想像する人も多いかもしれないが、近年の目覚ましいスポーツ・テクノロジーの発展に伴って、データ分析でアスリートを支える仕事も増えてきている。プロ野球にはスコアラーという試合の戦術を練るための情報収集と分析を担う専門グループが古くから存在しているが、試合時・練習時を問わず多方面からデータを取得できるようになってきた今日では、各球団がデータの専門性に応じたスタッフを配置してきている。その1つが動作解析であり、選手の技術的な長所や短所を、バイオメカニクスの観点で分析し、日々の取り組みに生かしてもらえるよう選手や指導者をサポートしている。大学や研究機関でのこれまでの学びや経験は、プロ野球の現場でも多く生かされているが、上手くないことも多く、失敗の連続ともいえる。本講演では、3シーズンを終えた現場スタッフとしてのプロ野球生活から、日々の試行錯誤や、現場で生かされるスポーツ科学についてお話ししたい。

【略歴】

早稲田大学大学院スポーツ科学研究科博士  
後期課程修了。博士(スポーツ科学)。国立  
スポーツ科学センター研究員を経て2020年  
2月より福岡ソフトバンクホークスチーム  
戦略室R&D担当、2022年1月より現職。

## オンライン開催 (ZOOM)

2022年  
12/12(月)  
17:30  
~19:00

参加無料 どなたでも参加可

申し込みはこちら→

